

## ～ 第6回講座(農業機械整備研修)を開催～

十一月二十六日(木)、JAMシーネかすみにおいて第六回基礎講座農業機械整備研修を開催しました。今回は、米づくりが終わり、来年まで使用しない機械をきちんとメンテナンスして保管しようということとで、『農業機械整備研修』というテーマで、研修を行いました。

農業機械に詳しいJAMシーネかすみの山崎センター長を講師に、実際にコンバインを用いて研修をスタートしました。



コンバインでの説明

コンバインを分解し、整備箇所を見ながらの説明は分かりやすく、受講生もよく理解できたようでした。

コンバイン整備の説明を聞いた後には、トラクタについても整備のポイントを説明していただきました。



トラクタでの説明

一通りの説明を受けた後、学園生から農業機械の整備方法について質問が出されました。学園生からの主な質問とその回答は次の通りです。



Q1 故障がしやすい部位はどこですか？

A1 ベルト類、手タン類です。また、ベルト

にオイルが付着するとスリップしてし

まつのので、注意して下さい。

Q2 秋口に自分でやるべきメンテナンスに

はどのようなものがありますか？

A2 機械についた泥やホコリはしっかりと落として下さい。専門家に依頼すると掃除だけでもお金がかかってしまいますので、お得です。

Q3 コンバインで故障すると高くつくことはどこですか？

A3 刈刃は値段が高く、交換となると安くても万単位はかかってしまいますので注意して下さい。

研修後のアンケートでは「まずは名称を覚えるところから、徐々に覚えていくようにしたい」といった意見が聞かれました。

### 次回予告

日時 十二月十七日十三時三十分から

内容 たい肥を利用した土づくりについて基本を学びたいと思います。

多くのみなさんご参加をお待ちしています！

### ご意見大募集

農業学園では、みなさんの意見を取り入れながら、一緒に学園をつくっていきたくと考えています。充実した講座にするためにも、ご意見・要望などを気軽に郵送下さい。

連絡先：稲敷地域農業改良普及センター

(Tel: 029-892-2934)

『農業学園』担当：伊藤、坂、中原、大橋